



5月の青空の下、庭に

バラの花が咲いています



豊川にてパート12

化粧品店も順調にスタートし、独身の(妻が入院、子供は妻の実家にいます)私の日課は朝6時に起きて、学研の配達する荷物をコーチャーさんに届けます。田舎は皆さん朝が早いので8時までには配り終えて、それから喫茶店に行きます。モーニングをコーヒーと共に頼んで朝ごはんです。愛知県の喫茶店のモーニングは全国的に有名で、まず「トースト」「ゆで卵」「サラダ」「ヤクルト」。お店によっては、「おにぎり」「味噌汁」がでて当時は250円です。朝はこの喫茶店もお客で一杯です。

会員になっていたので一人で行って誰かの組に入れてもらって18ホールをゴルフです。夕方ゴルフの帰りに集金に回ります。日曜日や祭日は化粧品店が忙しいので私は遊びません。仕事をしますが、と言ってもお店では何もすることもないのですが、荷物の出し入れや、従業員の連絡事項などを聞いて処理したりしながら過ごします。

私の生活で問題は夜です。そうそう当時はまだ携帯電話がない時代です。で、連絡は固定電話からですね。社長の私がどこにいるのか、私からお店に電話しなければわかりません。定期的に公衆電話から電話しますが、連絡が取れないとよく叱られたものです。仕事以外で楽しみはゴルフと夜のスナックでのカラオケですね、夜食は居酒屋でビールを飲みながらつまみます。ご飯類は夜は食べません。それから毎日スナックに行きます。行きつけのスナックが三店程あり、時には梯子してますが、そこでの事が問題ですね。ある一軒のスナックで名前は「花水木」と言うのですが、20代のカウンター嬢が2人、30代が2人とママを入れると5人で接客しているところで、私はそこに行くのですが、私はそこに行くのですが、当時は私は自分で言うのもなんですが、歌がとてもうまかったようです。(他人の評価です)私は演歌はあまり歌いません。と言うかこぶしが回らないので苦手でした。主にフォークソングを歌いました。井上陽水・かぐや姫・尾崎豊・吉田拓郎・アリス・小椋佳・さだまさし等の歌をよく歌いました。お客の中

では珍しいことのように、皆さん演歌ですがその中でフォークソングは目立ちました。特にホステス嬢には初め奇異の目と耳で、見られていました。しかし段々私に慣れてくると少し歌の上手い社長さんとして受け入れられて、楽しく歌っていました。カウンター嬢もお客さんとジュエツトはしますので私もジュエツト曲を覚えてと言うより彼女たちから教わりながら人間関係を作っていました。「彼女上手だね」「いえ、カゴさんにはまけるは」とかなんとか会話しながら、一人私は好みの彼女を見つけアタックすることにしました。妻アルミでなんと不謹慎なと言わないでください。40そこそそで、独身と同じ生活を強いられている私、若い可愛い娘に興味を持つのは自然の摂理です。特にお許

してください。特にお酒が入っていますので気持ちが大きくなって行きます。可愛い娘は「洋子」と言いました。前の妻の名前と一緒にです。そんな事もあり親しみを特に感じてこの娘を落としてみようと思っていました。まず毎晩通いました。そして早めに行つてその娘のカウンターに座り、すました顔でグラスを傾けて「あなたに興味判別がありませんよ」と言う顔で通います。そして面白いことをこつりと話し相手がびっくりしながら笑うのを眺めて、少しづつ私がおもろい人だと認識させます。黙っていると私は難しい人に見えるらしくて、初めは話しづらい様です。皆んな後でそう言います。それを知っている私は始めはわざと無口で難しい人を演じます。少しづつ話をして行き冗談もポツリと言って笑わせ、付き合ひ難い人ではないなあと思わせます。そ

うするとマイナスから入って、少しでもプラスの印象を与えれば、それはとても良い人に映るのです。これはセールズをしている時に得た技術です。

ですから、彼女達も案外カゴさんっていいひとかも！と思いはじめれば締めたものでそこから勝負に出ます。まず歌で彼女の心を掴みます。「ジュエツトします？」と必ず聞いてくるので「そうだね、君さえ良ければ下手だけど」「いえいえ、カゴさんはとも上手いので教えて」とかなんとか言ってマイクを持ってきます。「何にしますか？」「では、東京砂漠の片隅で、を歌うかね」「まあ難しい歌を、いいですよ」と彼女。このデュエツトの時はコツがありまして、彼女の目を見ながら、出来るだけお店の中には二人しかいない様な気分です。二人でお店の舞台で歌う時は彼女の腰にそっと手を当てて歌います。(セクハラです)3分間で如何に酔わせるかが勝負です。スナックやバー、クラブといった類のものは私にとって裏を

知り尽くしてありますので、いくら若くて可愛い娘でもその私生活は貧乏暮らしが多い人ばかりです。

私もつい最近までは、貧乏でしたので彼女達の昼間の姿を想像すると、かわいそうになつてくることもあります。皆さん世帯持ちです、子供もいます。それでいて夜働くのですから生活が苦しい娘が多いのです。そんな彼女から好ましい人と思つて貰うには、彼女達に思い切り温かい思いで接することです。彼女達は寂しがり屋が多いですから、洋子さんは27歳、5歳と3歳の子持ちです。なんで知っているのかですか、彼女は明るい人で自分から「私子持ちししゃもなの」と言っています。そんな彼女をお客さんもママも応援しています。私もその明るさにいつも救われていて、なんとしても彼女を落とそうと思っています。

お店に通つて6ヶ月が過ぎた頃、私は箆袋に書いて彼女にそっと渡しました。そこには次の様に書きました。「君に似し、

姿を街に見る時の、心踊りを哀れとぞ思え」これは啄木の歌ですが、如何にも私が書いた様にして渡したところ、「とても嬉しいは、カゴさんで教養があるのね」と喜んでいたので、啄木の歌だよと言ひそびれてしまひ、まあいいか彼女が喜んでくれるのだから勝手に解釈して、自分の歌にしてしまいました。私は喜んでいる彼女を見てますます彼女が気に入つて行き、いつかデートに誘うおうと心に誓い店を後にするのでした。さて、カゴさんは彼女をデートに誘えるでしょうか？又その後はどうなるのか次回で……

籠谷 弘



歌声喫茶 5月・6月の予定

「西院」(第2、4木曜日)

5月 8日、22日

6月 12日、26日

楽々亭第53回 5月の予定

5月 13日(火)

西京区役所洛西支所第三会議室

午後1時30分～3時30分



ともしび通信

発行元：NPO 法人没イチの会・京都

住所：京都市西京区大枝北沓掛町一丁目5番地2-406

TEL：075-874-5320 FAX：075-874-5328

MAIL：kago@botuichi.com

●ともしび通信では、皆様の投稿を募集しております。身の回りの出来事や体験談など、何でも結構です。楽しかったこと、つらい想いをしたことなど、様々な胸の内を皆様と共有して行きたいと考えております。